

命を守る
ために

避難の注意点

大雨で河川氾濫が起きそうなとき

積極的に情報を入手

災害時には様々な情報が発信されます。積極的に情報を入手し避難のきっかけをつかみましょう。



浸水より高い場所へ

同じ建物でも上層階など、浸水から安全に身を守る場所へ避難しましょう。



原則歩いて避難

やむをえず車での避難が必要な方は、高齢者等避難など、より早い段階で避難を開始してください。



浸水した道路は通らない

水が濁って、足元が見えにくくなります。マンホールや排水溝などに転落して危険です。



低い道路は通らない

高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。



自宅にとどまるなら 十分な準備を

浸水や孤立した場合には、水道や電気、ガスなどが使えなくなるおそれがあります。自宅にとどまることが可能で、自宅にとどまる場合には、飲料水や食料などの準備が必要です。

